

アンケート結果報告書

(1) アンケート調査概要

今後、少子高齢化や労働力不足が深刻化していく中で、情報通信基盤の果たす役割は益々大きくなっていくと考えられ、また、さらに進展していく情報化社会への対応と地域活性化のためにも光ブロードバンドは必要不可欠です。

光ブロードバンド未整備地域への整備を検討するにあたり、実際に未整備地域にお住まいの方の意向を調査するために、インターネットの利用状況や光ブロードバンドの必要性などのアンケート調査を実施致しました。

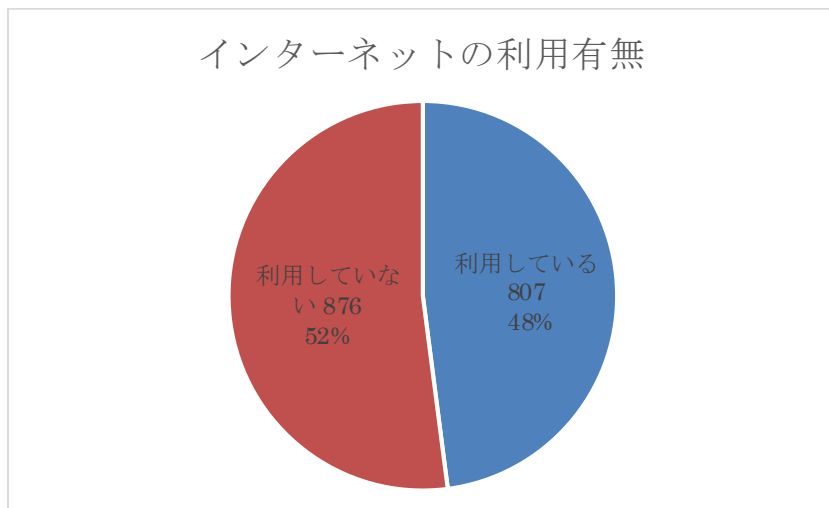
アンケート概要については以下の通りです。

項目	内容		
調査期間	平成 30 年 6 月 4 日 (火) ~平成 30 年 6 月 29 日 (金)		
調査対象		地域	対象世帯
	住民	穎娃	760
		知覧	2,721
		川辺	1,101
	事業所	穎娃	74
		知覧	183
川辺		68	
調査方法	自治会発送及び郵送		
回収率	○住民アンケート 発送総数 4,582 回収総数 1,683 回収率 36.7% ○事業所アンケート 発送総数 325 回収総数 207 回収率 63.7%		

(2) 住民アンケート結果分析

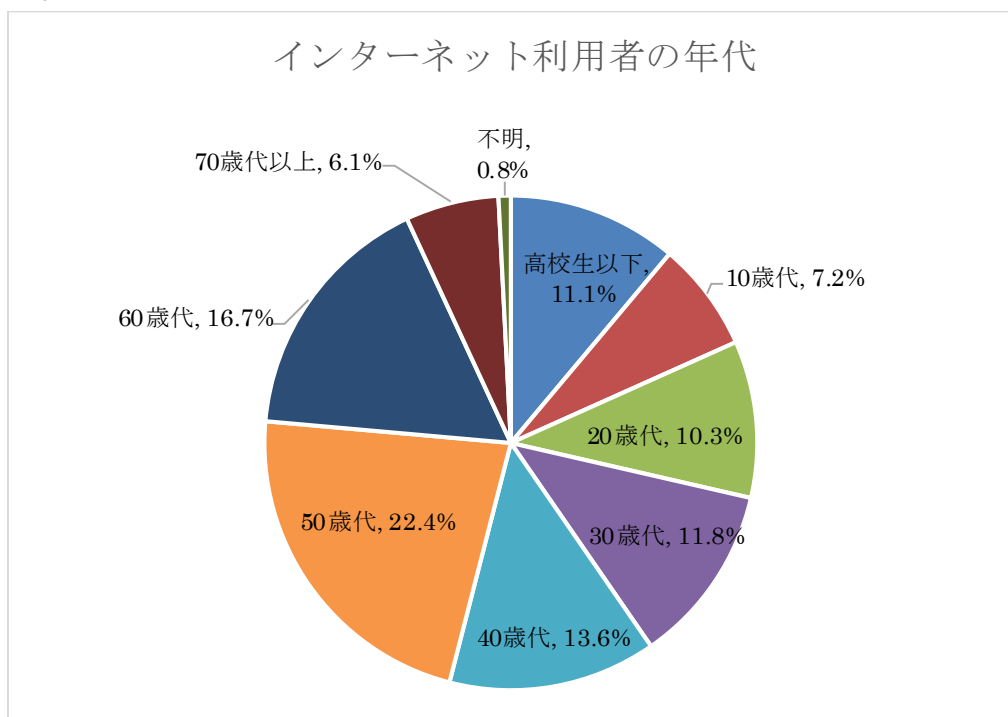
①家庭でのインターネットの利用有無

家庭でのインターネットの利用状況としては、「利用していない」が52%と半数を超えておりますが、この中には、光ブロードバンドが整備されていないために、インターネットを利用していない方もいるのではないかと考えられます。



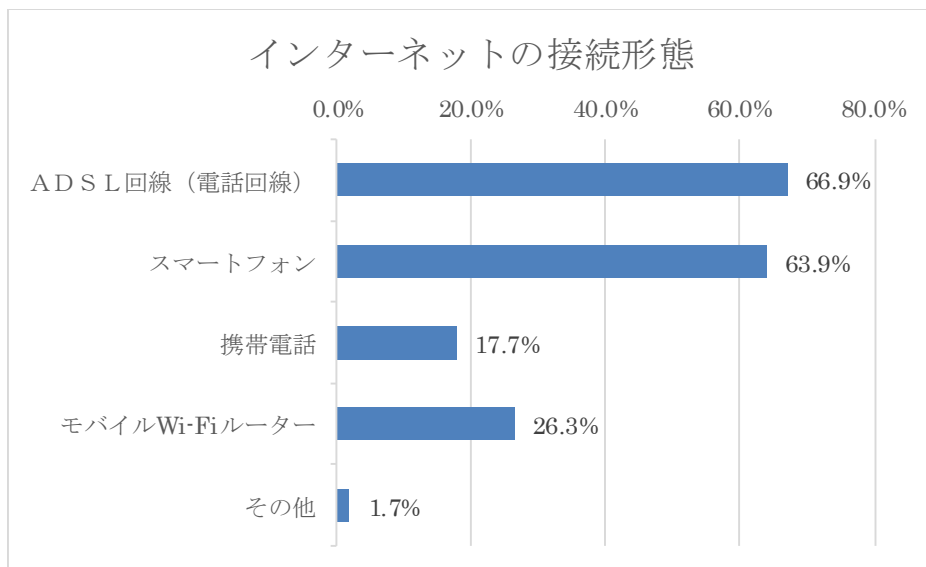
②インターネットを利用している年代

インターネットを利用している方の年齢構成としては、40～60歳代で50%を占めるなど、若者だけではなく、幅広い年齢層で利用されていることが分かります。



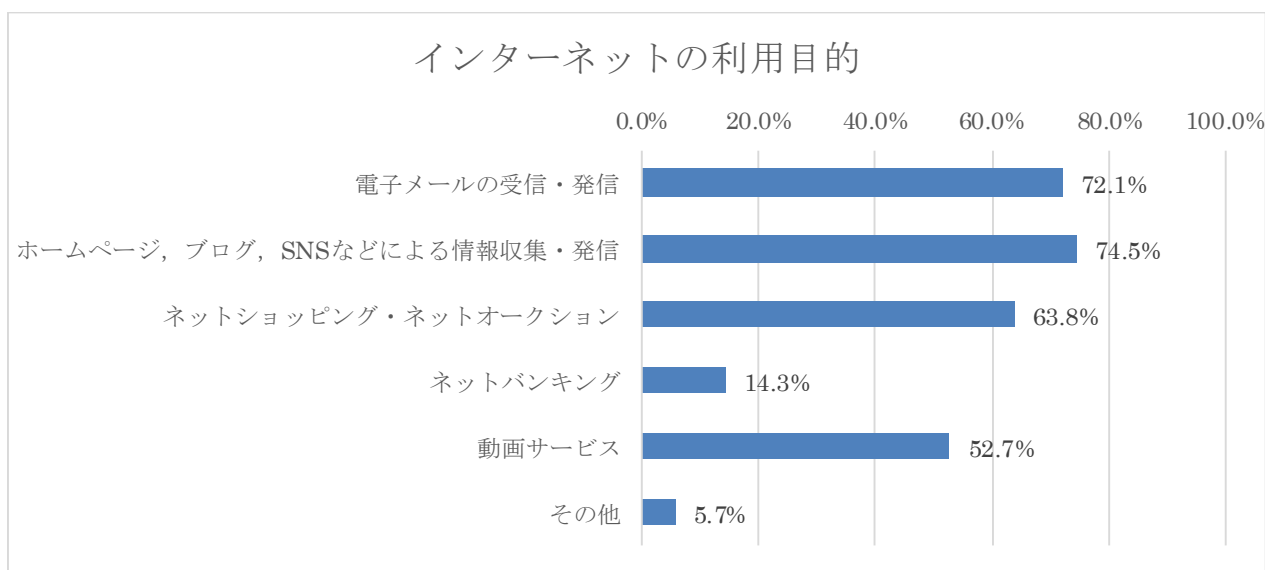
③インターネットの接続形態

インターネットの接続形態としては、ADSL回線（電話回線）の利用が最も多いものの、スマートフォンやモバイルWi-Fiルーターなどの無線通信の利用も多数ございました。また、複数の接続形態を併用している方も多く見受けられました。



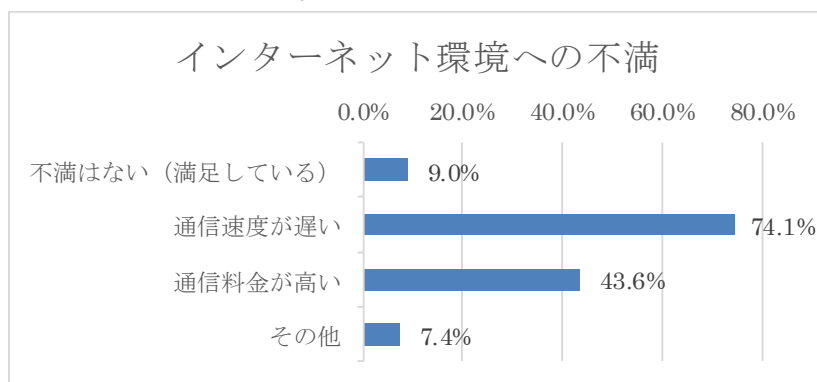
④利用目的

利用目的としては、ホームページ等による情報収集や、電子メールの送受信、ネットショッピング等の利用が多く、インターネットの利用が日常生活の一部となっていることが分かります。また、動画サービスやその他の中で、オンラインゲームと回答した方も多く、このようなサービスを利用するためには、光ブロードバンドが必要であると考えられます。



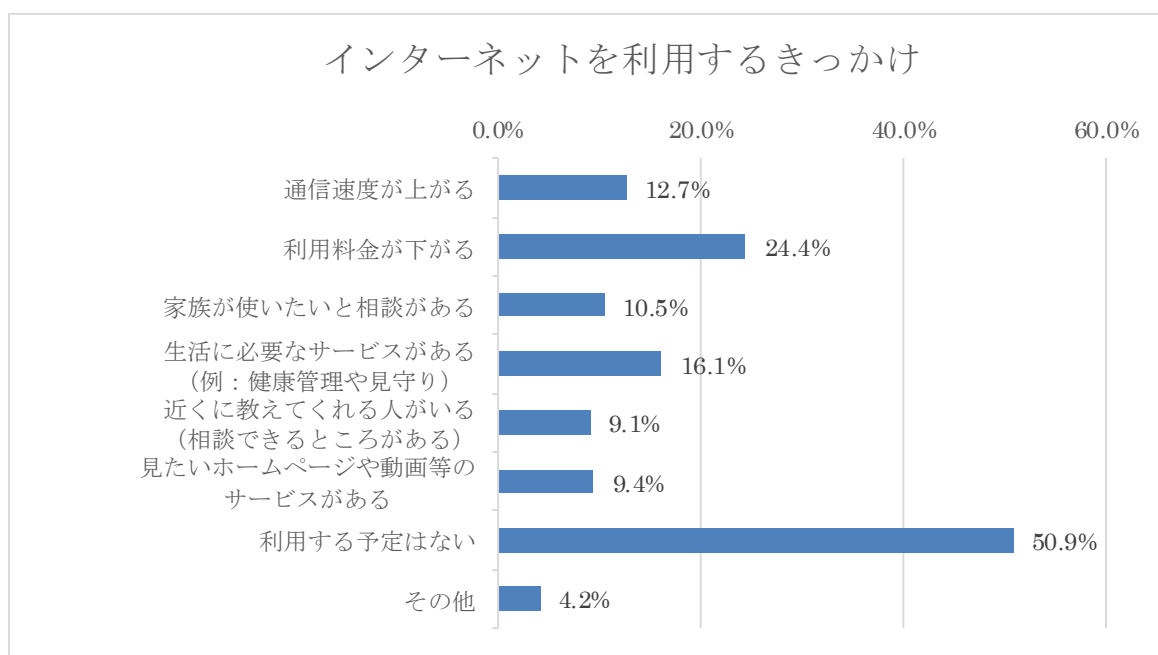
⑤インターネット環境への不満

インターネット環境への不満については、通信速度が遅いことへの不満が最も多く、超高速通信サービスである光ブロードバンドサービスの提供を希望する方が多いことが分かります。また、その他として、ADSL回線においては、天候や時間帯による通信の不安定、無線通信においては、通信制限等の不満が多く寄せられております。



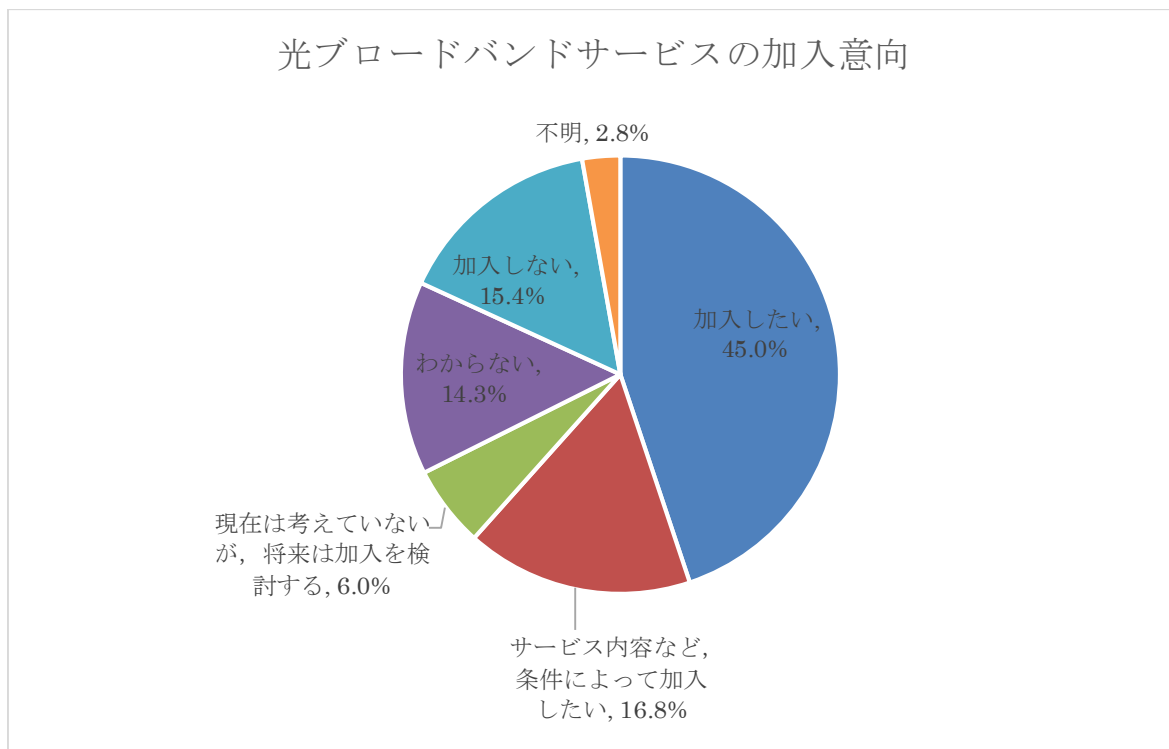
⑥インターネットを利用するきっかけ（現在インターネットを利用していない方）

インターネットを利用していない方が、どのようなきっかけがあれば今後インターネットを利用するかについては、半数以上の方が今後もインターネットを利用する予定はないと回答しております。しかしながら、半数近くの方は、何らかのきっかけがあればインターネットを利用すると回答しており、光ブロードバンドが整備され、ICTによるサービスの拡大等によっては、今後インターネット利用者は増加するのではないかと考えられます。



⑦光ブロードバンドサービスの加入意向

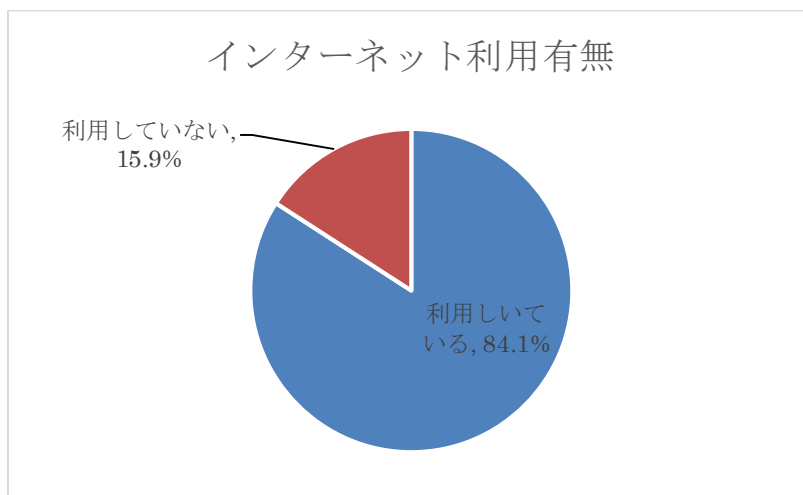
光ブロードバンドサービスの加入意向については、45%と半数近くの方が加入意向を示しており、「条件によって加入したい」、「将来は加入を検討する」と回答した方を含めると、全体の3分の2以上の方が、加入へ前向きな回答となっております。このことから、現在、インターネットを利用している方の光ブロードバンドへの切替だけでなく、インターネットを利用していない方も光ブロードバンドサービスへの加入を検討していることが分かります。



(3) 事業所アンケート結果分析

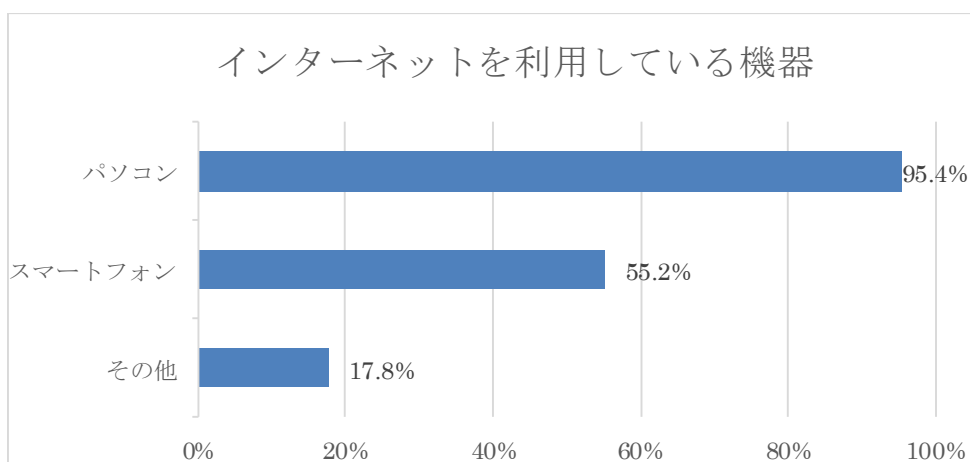
①業務におけるインターネットの利用有無

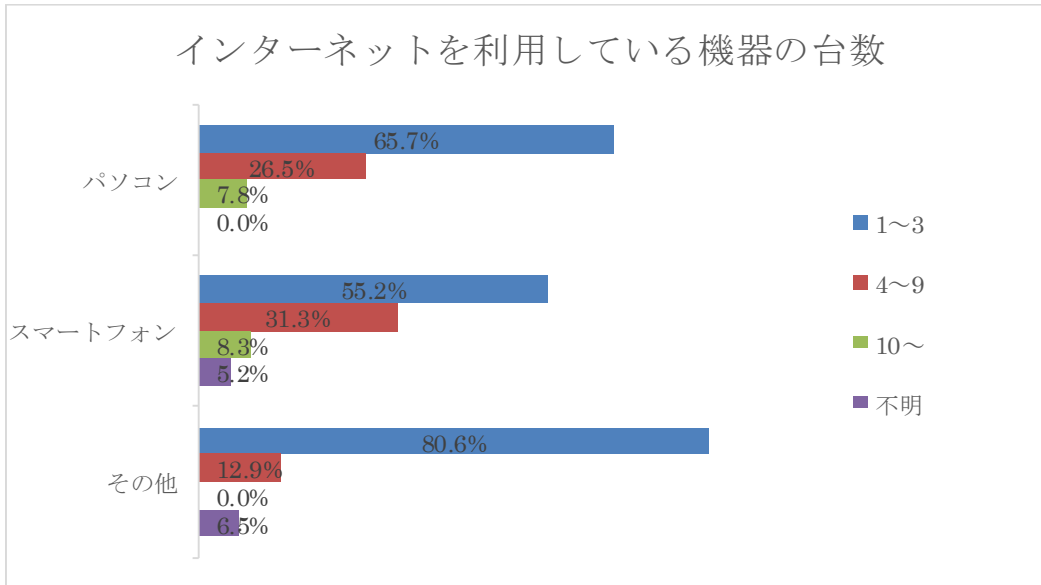
業務においてインターネットを利用している事業所は **83.9%** となっており、多くの事業所でインターネットの利用が欠かせないことが分かります。



②インターネットを利用している機器と台数

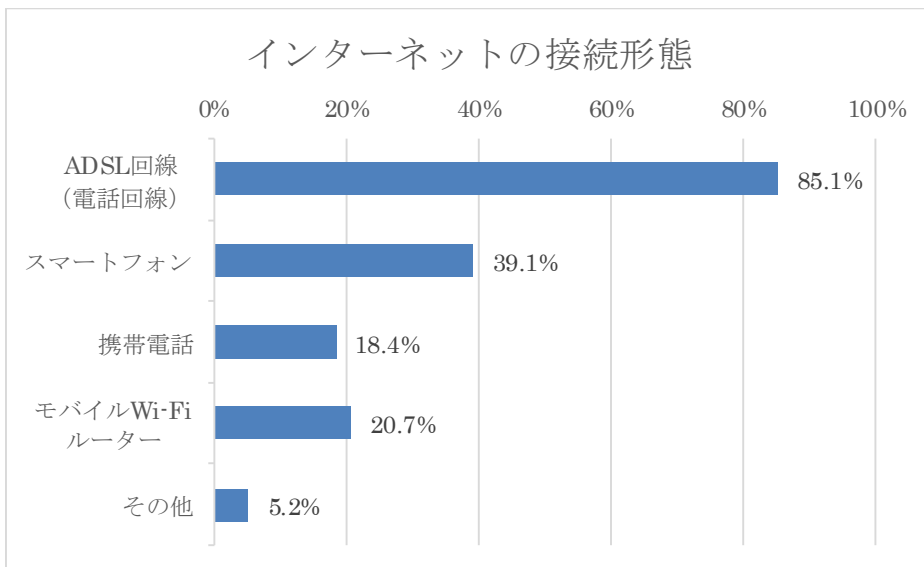
インターネットを利用している機器については、パソコンが **95.4%** となっており、業務でインターネットを利用する際は、パソコンを通してインターネットを利用していることが分かります。また、スマートフォンの利用も **55.2%** と半数以上の事業所で利用されております。その他としては、タブレット端末の利用多く、また、複数の機器を併用している事業所も多く見受けられました。台数としては、どの機器においても3台以下と回答している事業所が多数でしたが、パソコンにおいては **42** 台、スマートフォンにおいては **60** 台と回答している事業所もございました。





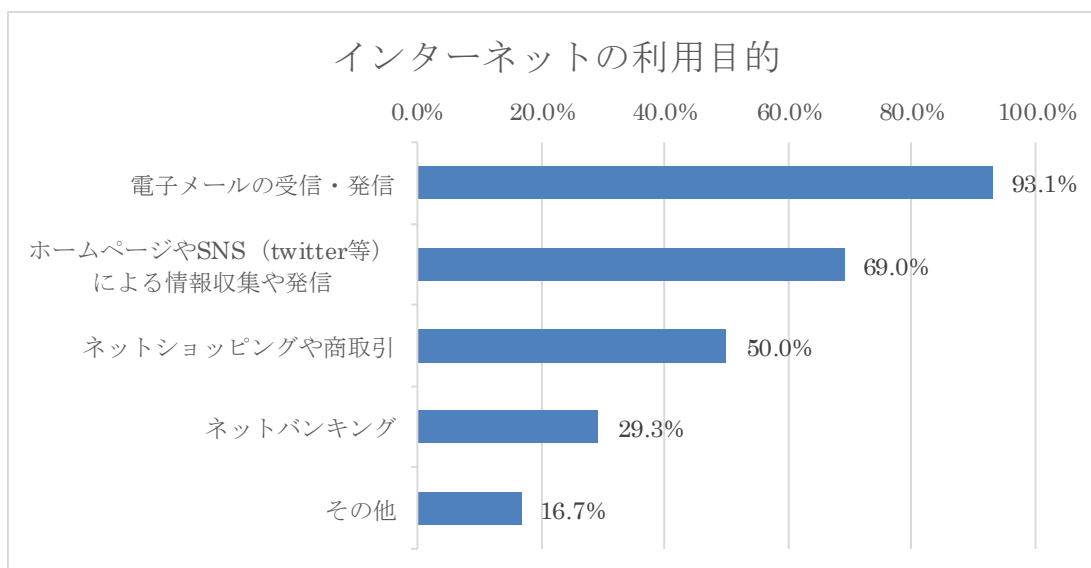
③インターネットの接続形態について

インターネットを利用している事業所の多くが ADSL 回線を利用しており、ほとんどの事業所がパソコンを通してインターネットを利用していることから固定通信での接続を行っているのではないかと考えられます。そのことから同様に固定通信である光ブロードバンドサービスが開始された場合は、切替える事業所が多いのではないかと考えられます。



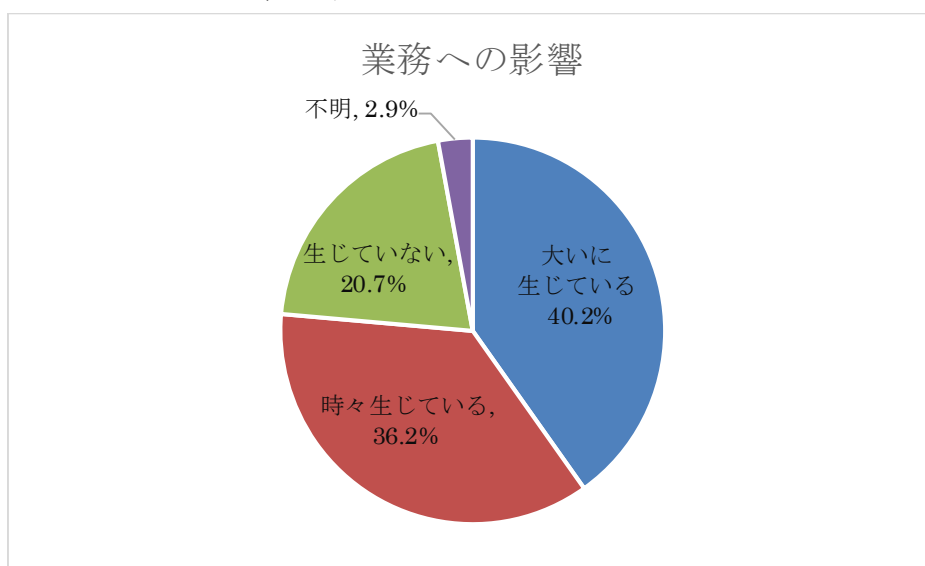
④インターネットの利用目的

利用目的としては、電子メールの送受信が最も多いが、情報収集や情報発信、ネットショッピング等にも多く利用されており、業務上、インターネットは様々な目的で必要とされていることが分かります。



⑤インターネット環境における業務への影響

業務への支障の有無ですが、「大いに生じている」、「時々生じている」を合わせて、76.4%と多くの事業所で業務への支障が生じており、光ブロードバンドが整備されることで、改善されることも多いのではないかと考えられます。



⑥光ブロードバンドサービス加入意向

光ブロードバンドサービスの加入意向ですが、「条件によって加入したい」、「将来は加入を検討する」を含めると、84.6%の事業所が加入へ前向きな回答をしており、光ブロードバンドサービスの提供が待たれる状況となっております。

